



## 送別のことば

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福原, 行三 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/1147">http://hdl.handle.net/10466/1147</a>

## 送別のことば

大阪府立大学経済学部教授、永島清先生は、昭和60年3月31日をもって、このたび定年に達し本学を退かれることになりました。まことに惜別の情、禁じえないものを感じます。

先生は大正10年7月26日兵庫県芦屋市にお生まれになり、昭和14年に大阪府立北野中学校を卒業されたあと、満州国建国大学の学徒のまま、昭和18年に現地にて兵役につかれました。戦後は京都帝国大学経済学部卒業後、彦根経済専門学校講師、滋賀大学経済学部講師、助教授を経て、昭和31年4月に大阪府立大学（当時は浪速大学と称していた）経済学部助教授に就任され、以来29年の長きにわたって本学の発展のために尽してこられたのであります。

この間、昭和38年にはアメリカ合衆国カリフォルニア大学へ1年間、昭和42年には中華人民共和国へ、また昭和50年にはオーストラリアに3カ月と在外研究員として外国に出張されました。昭和44年9月に教授に就任されて以来、経済学部では補導委員長、大学院委員、教養委員などの要職をお務めになり、とりわけ教務委員長としてはカリキュラムの改善と整備にも骨身を惜しまず尽されました。昭和57年4月からは評議員として大学の管理運営面にも多くの貢献をされました。

先生と本学との関係は、実は、上述の昭和31年以前に始まっておりました。工学部工業経営学科へ非常勤講師としておこしいただいたのは昭和28年4月からでありまして、国民所得論の講義を担当していただいております。先生のご研究分野の裾野は極めてひろく、国際経済論講座の教授として、国際経済学の理論や国際経済の実態についてご造詣が深いことは申すに及ばず、お若い頃には計画経済論、工業経済論やひろく理論経済学関係の研究や講義をなさってこられ、さらに中国経済についての見識は極めて高く、ある中国人の語るところによると先生の中国語はなかなか正確で発音もよいとの評判であります。

先生は明朗快活，その円満なお人柄の故もあって，学生から慕われることが多く，これに対し先生は親身になって相談にのってこられました。とくに外国人留学生には学問的指導のみならず，生活指導をも含めた広い範囲のアドバイザーとして，地道な努力を重ねられ大学内においてのみならず家族ぐるみで接してこられ，大きな信頼と尊敬を受けておられます。課外に特別に時間を割いて先生自ら作成された教材で4～5人の留学生に日本語を教えておられるお姿を以前から殆んど毎週研究室で拝見したのであります。4月からは，誰かが先生がなさってこられたこういう地味な仕事をひきつがなければならないことを考えますと，改めて先生のこの方面でのご尽力の偉大さを痛感いたす次第であります。

このかすかすの立派な業績を残された先生は，いま定年をむかえられ退職されることに相成りました。予想されたことはいえ，こうしてその時をむかえてみますと，まことに名残り惜く，別離の愁いをしみじみと感じております。どうか先生には，今後とも一層ご健康に留意され，大阪府立大学経済学部のことをいつまでもお忘れになることなく，これまで同様変わることのないご指導を賜わりますよう，心からお願い申し上げます。永島先生，長い間，本当にありがとうございました。

昭和60年3月

大阪府立大学経済学部長

福原行三